

第6回 杉一小学校運営協議会

日時：平成29年11月28日（火）17:00～18:30

会場：図書室

出席者：伴野博美職務代理 井上廣司委員
竹越不可止委員 河野依子委員 校長
副校長 米山美智子主幹教諭 堀河健吾主任教諭
傍聴 PTA会長



音楽会 高学年合同合唱

〈会次第〉

1 校長あいさつ

○音楽会

- ・全学年、素晴らしい出来栄であった。

○連合音楽会

- ・杉一小の音楽性の高さが発揮された。専科の授業が実施されることが大切。

○平成30年度 教育課程について

- ・新学習指導要領開始（平成32年度）に向けての移行期間である。
- ・外国語授業時数増加 ・「特別の教科道徳」の実施
- ・プログラミング教育（プログラミング的な思考を育む）

○長寿命化計画

- ・平成29年度12月～3月に屋上防水、フェンス工事、体育館工事
- ・平成30年度6月～8月校舎壁面塗り替え、内装工事
- ・平成30年度9月 児童用タブレット160台導入

2 体力調査結果について 体育主任 堀河健吾主任教諭

- ・握力が弱い傾向

（委員）せまい校庭でも、全体の平均に到達しているのだから、良いのではないか。

3 学力調査について 米山美智子主幹教諭

○全体的に応用力が身に付いていない傾向がある。

- ・授業の中で、対話をしながら学ばせたい。思考の深まりにつながる。
 - ➡・時間がとられるので、見通しをもった授業展開が必要。
 - ・児童の主体性に委ねられていない。
 - ・児童の実態に合わせて授業を進行させたい。
- ・個々につまずくところが違う。 ➡・児童の自学自習を進めたい。
 - ・補充指導する時間が少ない。
- ・「もう少し」の児童を「よい」にしていく。 ➡基礎基本を身に付けることが大切である。
 - ➡・タブレットPCの活用。
 - ・自分に合ったコースの選択。

○聞く、話す力が弱い。書く力。 ➡強化したい。

○創造する力が弱くなっている。

(委員)・教員の準備、能力の差がある。多教科を授業するので大変である。

・教員を増やす必要があるのではないか。

○協調性はある。自分の意見をしっかり主張するのは苦手である。

(委員)・指導者の問題か、児童個々の問題か。

4 協議

○道徳科について

- ・文章での評価となる。
- ・ねらいに近付くことができたかを見取る。
- ・その子なりの心情がもとにあるのではないか。
- ・先生や大人の態度が子供に影響する。
- ・教科書はどのようなになっているか。
- ・道徳の規範は何か？ 道徳と法律の違いは何か？
- ・法律以前の問題である。
- ・よい、悪いの問題ではない。
- ・個→身近→社会→自然の中で、相手の気持ちを理解する。

○外国語活動→外国語科になる→評価をすることになる。

- ・中学年：外国文化に触れる（ALT） ・高学年：会話できるように（JLT）
- ・英語でプレゼンテーション、ディベートできるようにする。
- ・中学生の英語力が二極化している。（できるかできないか）
- ・何のために取り入れるのかを明確に示してほしい。
- ・英語好きな子を増やしたい。
- ・英語で授業が進むくらいでないと、身に付かない。

※学習指導要領が規準である。

- ・やらねばならぬこと。（指導事項）
- ・難易度を上げることはよい。

インフォメーション

《12月学校運営協議会》

日時：12月12日(火) 17:00~18:30

※学校運営協議会は、どなたでも傍聴できます。

※お問い合わせは、杉一小 副校長まで ☎03-3338-8367